

- 1 晴着着て石ころが好き七五三
- 2 幼子に髪撫でられて冬来たる
- 3 時雨聞くひとりつきりの夜の時間
- 4 呼ぶたびにサンタクロース近くなる
- 5 セシウムといふ名を知った年流る
- 6 雪を待ち窓辺に座る子の背中
- 7 なぞ多き「つわり」にをりぬ冬の果
- 8 吾の中小さき人のゐて初春
- 9 鬼がゐて福もある世や節分会
- 10 風光る子宮も乳房もふくらんで
- 11 水ぬるむ胎児をつつむ羊水も
- 12 凧高し胎児の手足感じをり
- 13 雛菓子を腹にそおつと触れる子に
- 14 黙禱の間胎動春寒し
- 15 ふんはりとマタニティ服梅の園
- 16 吾の中に顔知らぬ子よ青き踏む
- 17 ひとひらを集め手の中花盛り
- 18 おなかの子次の桜は背に居る子
- 19 鮮やかな恋愛に似た春送る
- 20 水の春木曾の匂ひを腹の子に
- 21 胎児ゐる腹のさざ波夏きざす
- 22 夏来たり胎児が赤子になる季節
- 23 母の日やママと呼ばれてママの顔
- 24 子の話相槌打って胡瓜もむ
- 25 乳歯抜け得意顔なる庭花火
- 26 ラムネ玉集めて入れて宝箱
- 27 虹の橋胎児と共に見る心地
- 28 子の姿エコーで追つて若葉して
- 29 水着着て見せて着替へを繰返す
- 30 耳搔けば眠くなる子や夏夕べ
- 31 子の耳は亡き母に似て宵風鈴
- 32 大暑の日丸いお腹に乳房乗り
- 33 万緑の濃くなる速さ胎児育つ
- 34 出たおいで夏の光と風の中
- 35 陣痛は胎児の意思や炎ゆる海
- 36 上の子が開きし産道盆灯籠
- 37 陣痛に息を重ねて盆の波
- 38 炎暑へと赤子の頭出てきたる
- 39 夫の手握つて息む八月十三日
- 40 生みし子は吾を看取る子虹の彩
- 41 宣誓のごとき産声野分風ぐ
- 42 生れてきたことこそ孝行銀河夜夜
- 43 血に濡れた子が血をつなぐカンナ燃ゆ
- 44 霧の中股赤くして母になる
- 45 生れてすぐ乳を探す子今朝の秋
- 46 子が吸えば乳にじみ出て露雫
- 47 葉月尽胎児がない腹の閑
- 48 子が生れて子宮が空に秋霖雨
- 49 水澄める産湯に四肢を伸ばしをり
- 50 行きは胎児帰りは赤子花野道

- 51 爽籟や赤子の拳の中に幸
52 乳求む赤子の声や涼新た
53 わが赤子おむつをつけた水蜜桃
54 紐多き赤子の肌着夜長星
55 月清し右も左もわたしの子
56 スリングにまあるくなる子秋日傘
57 赤子抱き子の手をひいて草の花
58 子はいつか赤子の通訳金木犀
59 吾を母と呼ぶ子はふたり風の色
60 教わりし唄を教える庭見草
61 星月夜読んでもらった本を読む
62 夕芒母のリズムで子守唄
63 月のぼる子と子の寝息の間にて
64 天高し進め進めや子どもたち
65 鳥渡るこの子が母になる時へ
66 抱いた子のキックとパンチ冬に入る
67 寒の夜幾度も起きて乳を呼ぶ
68 露しぐれ笑顔で笑顔呼ぶ赤子
69 ハンカチも玩具になりし小春の日
70 眠る子のバンザイをして流れ星
71 雪国の祖父の電話で雪知る子
72 会へずとも信じ続けるサンタさん
73 子も親も喃語で話す冬日燦
74 山型の赤子の口びる日向ぼこ
75 赤子笑ふ母の命日冬薔薇
- 76 父とみて娘に戻る去年今年
77 年新た赤子はいつも新しく
78 待機児と呼ばれる赤子寒戻り
79 春遠し赤子預ける場所のなく
80 保育園求めて行脚寒終る
81 豆撒いて恐れを知らぬ赤子の手
82 悠々と赤子や春を連れてくる
83 ふたりともお腹にみた子花の雲
84 背を伸ばす入学式のランドセル
85 夕焼けや乳房を目がけ這ひ這ひす
86 五月闇子らの匂ひの心地よし
87 夜濯ぎにスカイツリーを眺めをり
88 母の日や吾を母にした子から手紙
89 玄関に家族の大小夏帽子
90 親の皮膚つかんで立つ子雲の峰
91 シャワーして赤子の盆の窪深し
92 秋光を纏って走る子ども追ふ
93 秋祭神輿のやうに肩車
94 綿菓子でほっぺが白し夕月夜
95 一步から二歩三歩続く大花野
96 初めての靴にはしゃぐ子晴るる秋
97 恋人から夫に父に月見豆
98 月見莫菴夫とふたりから四人
99 星今宵みな女から生まれをり
100 子を抱いて命惜しまむ秋野馳